



編集・発行：川崎市川崎区日進町5-1 / 社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会  
発行：毎月1回1日 / 年間購読料 960円(送料込) / 電話 044(233)7948

Eメール: info@csw-kawasaki.or.jp  
HP: http://www.csw-kawasaki.or.jp/



## またあそびに来てね!

～ 老人いこいの家と子ども文化センターの青少年交流事業より ～



「どうやって指にはさむの?」  
「どうしたらパチンって鳴るの?」

今回は老人いこいの家の囲碁クラブの皆さんが「ちょっぴり先生」の役割を果たし、子ども文化センターに遊びに来る子どもたちが館長と一緒にやって来ました。初めて碁石に触れる子から大人顔負けのジュニア棋士まで様々です。

子どもの問いかけに会話が弾んだり、時には真剣な表情で勝負の行方を見守ったりしながら、なごやかな中に自然に交流が生まれています。



「人数を集めることを目的にするのではなく、  
一人一人の心に残る一日を」

～ 片平老人いこいの家 青少年交流 初心者囲碁教室と将棋大会 ～

片平老人いこいの家では、和太鼓・習字・かわさきかるた・百人一首など毎年内容を変えながら青少年交流事業を開催しています。利用者が日常なじんでいる活動を無理なく行うことをモットーに、等身大のできる交流をめざして運営しています。

## 今月の特集

### 18年度事業計画

ご近所だからできる支えあい

～ 第10回小地域福祉活動実践セミナーを開催～

セレサ川崎農業協同組合から地域福祉の推進に寄付

## 橋



### たくさんのボランティア に支えられて

障害のある子どもたちの義務教育終了後の進路・社会参加の場の拡がり求めて、任意団体として活動を始めてから25年になる「わになるう会」ですが、昨年4月から二つの新しい事業に取り組んでいます。

一つは「児童デイサービス事業」(3歳以上の幼児と小学生が対象)、いま一つは川崎市の委託を請けた「地域生活サポート試行事業」です。放課後や休日を楽しく安全に過ごすこと、日々学校や作業所などへ通うこと、通院すること等々、地域であたりまえに暮らすために必要な支援を提供するのが仕事ですが、この一年間で改めて強く感じたことは、どちらの内容についても応えきれないたくさんの切実なニーズがあ

ること、そのニーズを満たすには大勢の人々の力が必要だということです。

あちこちに掲載したボランティア募集の案内を見て集まられたみなさんは、高校生・大学生・一般企業の会社員・主婦・定年退職後の方たちなど、年齢・経験もさまざま。それぞれの生活スタイルに合わせて可能な時に活動されています。公的な制度にのっとって実施している事業とはいえ、潤沢な予算があるわけではなく、あくまでボランティアな活動ですが、利用者さんの思いをたいせつに誠実に関わってくださっていることに感謝しています。新たな方のお力添えも待ちながら.....。

NPO法人 わになるう会

理事長 新井 靖子

# 平成18年度 事業計画

本会は、川崎市における民間社会福祉事業のあり方が検討されるなか、平成18年度から財団法人川崎市在宅福祉公社と統合し、新たな法人運営を行うこととなりました。これまで在宅福祉公社が実施してきた在宅福祉サービスの提供・調整、福祉人材の養成事業などの事業を継承し、さらなる充実を図るために、全体の事業内容についての見直しを行い、効率的、効果的な事業運営と次年度に向けての組織体制の検討を推進してまいります。

合わせて、本会が長年にわたり要望してきた「川崎市総合福祉センター」については、多様化した市民ニーズに対応する様々な事業推進や、地域福祉のネットワーク化の推進を図る総合的機能をもつセンターとしての運営を目指し、平成19年4月の運営開始に向けて準備をすすめてまいります。



平成18年度は、指定管理者制度の導入にともない、これまで本会が管理運営を受託してきた「老人福祉センター」や「老人いこいの家」は、区社会福祉協議会をはじめとする指定管理者が運営を行うこととなりましたが、これまでの地域での実践活動がさらに拡充されるよう全市的な調整・支援をしてまいります。

指定管理者制度の対象施設となった「聴覚障害者情報文化センター」及び、在宅福祉公社が運営してきた「人材開発研修センター・保健福祉研究センター」については、指定管理者として地域との連携や関係機関とのネットワークを活かし、より充実した運営に努めます。

さらに平成18年度は、本会の「地域福祉活動推進計画」の実施最終年度にあたり、5年間の総括とともに、第2期計画の策定に取り組みます。

このように平成18年度は、組織面、事業面とも多くの課題が山積しておりますが、地域福祉の推進を図る団体として、各区社会福祉協議会をはじめとする社会福祉関係団体との連携を深め、それぞれの事業を積極的に推進してまいります。

## 重 点 項 目

### 1 川崎市総合福祉センターの開設準備

本年度、新たに指定管理者として指定を受け、会館業務を実施しつつ、来年度のオープンに向けて着実に準備をすすめてまいります。

### 2 「モデル区社協」推進事業の評価・分析

「モデル区社協」推進事業の最終年度にあたり、総合支援型社協を目指した総合モデル区社協及び事業指定モデル区社協について、モデル区社協推進プロジェクトによる事業評価・分析を行い、区社協支援の方策を構築します。

### 3 地域福祉情報バンク構想の具体化

多様化した生活ニーズに対応する地域福祉情報の収集・整備を行い、市民に向けて総合的な情報の提供ができるシステムを構築します。

### 4 川崎市あんしんセンターの開設

高齢者や障害者等が地域で安心して生活を送ることができるよう、地域福祉権利擁護事業及び成

年後見事業等を実施します。

また、地域福祉権利擁護事業の判定及び両事業の処遇のあり方を中心に監督、審査する業務監督審査会を設置し、適正な事業の実施に努めます。

### 5 訪問介護及び居宅介護支援事業

介護保険制度の改正及び障害者自立支援法により、利用者に適切なサービス提供が実施できるよう、体制整備を早急に行います。

また、これまでの利用者の高いニーズに応えるため、介護保険制度では認められないサービス提供を新たに自由契約として実施し、サービス提供の充実に努めます。

### 6 第2期川崎市社会福祉協議会地域福祉活動推進計画の策定

地域福祉活動推進計画の第1期最終年度として、総合評価をするとともに、第2期計画の策定に取り組みます。

# ご近所同士で「教えて!」「助けて!」「一緒に!!」と言えますか?

## 第10回 小地域福祉活動実践セミナー

ご近所だからできる支え合い ~ 地域で自然に生活を続けられるように ~

平成18年2月23日(木) 中小企業婦人会館

お互い顔のみえるご近所を再確認し、地域で関係づくりをあらたにしている宮前区野川地域の取組みをとおして、「ご近所だからできる支え合い」をテーマにセミナーを開催しました。(参加者207名)

国際医療福祉大学大学院教授竹内孝仁氏は、「元気を保つには仲間が必要、他の人を支えるのは自分も支えること」とユーモアを交えながら講演されました。

続いて「ご近所を語る」のパネルディスカッションでは、田園調布学園大学助教授村井祐一氏をコーディネーターに、すずの会代表鈴木恵子氏、宮前第一地区社会福祉協議会会長小泉國雄氏、宮前区社会福祉協議会事業課長新谷勇郎氏で話し合い、「誰かを助けるのではなく、自分が助けられ上手になることが秘訣」など、助け合いのヒントが紹介されました。

7月に報告書を作成する予定ですので、ご希望の方はご連絡ください。(ただし数に限りがありますのでご了承ください。)

川崎市社会福祉協議会 地域推進課  
電話 044-233-1907



「みんなで一緒にどこへ行こう?」「考えるのが元気の源!」  
野川セブンのバスハイク



「お土産買って帰ろう!」「どなたに?」「内緒です……」  
野川セブンのバスハイク



「何が入ってるんだろう?」「ワー!凄!」  
すずの会ミニデイサービス 野川老人いこいの家にて



「美しくなりたいねえ」「なりますとも」美容講習会  
すずの会ミニデイサービス 野川老人いこいの家にて



## セレサ川崎農業協同組合から 地域福祉の推進に寄付

去る3月28日、セレサ川崎農業協同組合から、本会の福祉基金に3,733,805円を寄付していただきました。

これは、平成17年度に、セレサ川崎農業協同組合が主催した「JAセレサ川崎感謝の集い」などの各イベントにおいて、組合員や参加者の方々に地域福祉の推進のために募金を呼びかけ、集めていただいたものです。

寄付金は、本会の福祉基金に積立し、市内の在宅福祉サービスやボランティア活動の振興など、市民の社会福祉の参加促進と地域福祉の向上に活用させていただきます。



セレサ川崎農業協同組合  
小泉一郎代表理事組合長から  
ご寄付が手渡され、川崎市社会福祉協議会壁義彰会長から  
感謝状を贈呈いたしました。

# ふくしインフォメーション



ボランティア活動振興センター TEL 244 - 3563 ・ E-mail v-center@csw-kawasaki.or.jp

## お知らせ

### 第4回TANGOフェスティバルチャリティーコンサートIN川崎

春爛漫、花そよぐヨーロッパタンゴにのせて歌と演奏の華麗な協演  
 日時 5月28日(日) 午後3時開演 (午後2時開場)  
 会場 エポックなかはら 大ホール  
 演奏 タンゴシンフォニカ・イワサキ11人編成グランド・オーケストラ  
 (バンドネオン2名とピアノを中心に、バイオリン4名、チェロ、コントラバス、フルート、パーカッションの構成。日本では初めてのタンゴ演奏用管弦楽団。アルゼンチンからコンチネンタルタンゴ、更に日本の懐メロまで幅広くそれも感動的に演奏できる唯一のプロ集団です)  
 歌手 グローリア米山 (最近の日本タンゴ界最高の人気歌手)  
 曲目 黒い瞳、オレ・グワッパ、ジェラシー、真珠採りのタンゴ、碧空、カプリ島、小さな喫茶店、赤い靴のタンゴ等約20数曲。

\*演奏時間：約1時間40分

入場料 全席自由：前売券 2,500円 (当日券 3,000円)

\*障害をお持ちの方及び同伴者の方は1,000円にて入場できますので、チケットお申込時に必ずお申し出ください。

主催 アルゼンチン友好協会

申し込み・問い合わせ アルゼンチン友好協会 トクトミ

Tel・Fax 03 - 3722 - 9505

川崎市社会福祉協議会 ボランティア相談室

Tel・Fax 244 - 5056

【月～金10:00～16:00】

## ハイ!! ふくし相談です

困ったとき、



どうしたらいいのかわからないとき、  
だれかに相談したいとき...  
お気軽に電話してください。



なやみゼロ

☎211-7830

	相談日時	相談方法	相談員
法律相談	毎週月曜日 午後1時30分～午後3時	面接 (予約制)	弁護士
福祉全般	毎週月曜日～金曜日 午前9時から午後4時	電話 又は面接	専任 相談員
介護・健康・ 子育て相談	毎週火曜日・水曜日 午前9時～午後4時	電話 又は面接	保健師

## ボランティア相談室

ボランティア活動に関する様々な相談に応じます。

お気軽にご利用ください。☎244-5056

相談時間 毎週月～金曜日 午前10時～午後4時 電話又は来所

ボランティアに関する相談は、各区の社会福祉協議会でも行ってあります。

- ◆川崎市社協 246 - 5500 ◆幸区社協 556 - 5500 ◆中原区社協 722 - 5500
- ◆高津区社協 812 - 5500 ◆宮前区社協(ボランティア活動振興センター) 856 - 5533
- ◆多摩区社協 935 - 5500 ◆麻生区社協 952 - 5500

## 福祉人材求人情報

当広報紙の発行日から皆様ご覧になるまでの間に、採用決定または取消しになっている求人もありますのでご了承ください。下記の求人に関しましては、まず当人材バンクまでお電話下さい。

問合せ先 電話 044 - 211 - 0211 (直通)  
川崎市福祉人材バンク

(土曜・日曜・祝日・年末年始・就職相談会開催日はお休みです。)  
開所時間や地図等につきましては川崎市社会福祉協議会ホームページをご覧ください (HPアドレスは当広報紙1面上に掲載しています)。

職種	就業場所	就業時間	基本給(円)	年齢	求人数	備考
援助員 (正規)	川崎市小田	8:45～17:30	149,000～	21～50	1	障害者地域作業所。知的障害者の作業援助、送迎、自然食品販売等作業所業務全般。普通自動車運転免許必要 (AT可)。土日祝休み。
介護職員 (正規)	川崎市本町	夜勤ありの 交代制勤務	163,800～	20～45	2	特別養護老人ホーム。介護福祉士必要。休日はローテーション。専門学校卒以上。別条件で正・准看護師 (正規) も募集中。
援助員 (非常勤)	中原区小杉御殿町	8:30～17:00	時給1,000～	18～30	3	障害者デイサービスセンター。日祝ならびに指定日休み。平成19年3月31日までの契約 (更新あり)。
介護職員 (正規)	多摩区菅北浦	夜勤ありの 交代制勤務	167,300～	20～40	2	特別養護老人ホーム。ヘルパー2級以上必要。休日はローテーション。この他別条件で介護職員 (パート)、正・准看護師 (正規・パート) も募集中。
栄養士 (正規)	麻生区片平	9:00～18:00	189,000～	年齢不問	1	特別養護老人ホーム。栄養マネジメントを主とする管理栄養業務。管理栄養士、ならびに1年以上の業務経験必要。この他別条件で正・准看護師 (正規) も募集中。

なお、上記の求人以外にも多数求人情報を扱っております。川崎市社会福祉協議会ホームページをご覧ください。電話でお問合せ下さい。